

日本工学院八王子専門学校	開講年度	2019年度（平成31年度）	科目名	広告・雑誌デザイン実習	
科目基礎情報					
開設学科	グラフィックデザイン科	コース名		開設期	後期
対象年次	1年次	科目区分	選択	時間数	60時間
単位数	2単位	授業形態	実習		
教科書/教材	参考作品・参考資料等は、授業中に配布、掲示する。				
担当教員情報					
担当教員	吉田 慎一		実務経験の有無・職種	有・グラフィックデザイナー	
学習目的					
商業におけるグラフィックデザインの役割を探究することにより、基礎から実践レベルへのデザインスキルを身につける事を目的とする。広告物制作に必要な文字構成力、ロゴ作成、画像加工などの基本スキルを身につける。商標、販促物のデザイン制作を通じて、ブランディング（ブランドを消費者に認知させ、市場における企業のイメージ、商品のポジションを明確化させること）の基礎を学ぶ。「描く、塗る、切る、貼る」といったアナログ作業も交え、「ものづくり」を通じて色彩、素材、構造について学び、平面・立体構成力を養う。自分が制作した作品について明確に説明できるようプレゼンテーションの基礎を養うことを目的とする。					
到達目標					
グラフィックデザイン科一年生に求められる初歩のスキルとして以下を目標とする。①教員から得た情報を理解し、作品制作に臨むこと。②制作にあたって世間一般のトレンドやニーズをリサーチし、自分の作品に落とし込むこと。③商業におけるグラフィックデザインの制作過程で、レイアウト、文字構成力、画像加工のスキル（アドビ イラストレーター・フォトショップを使用したパソコン操作など）を学ぶこと。④自分の制作物について明確に説明、アピール出来ること。					
教育方法等					
授業概要	グラフィックデザインをするにあたり必要なスキルの基礎を養うことを目標とする。個人ワーク主体。クラス＝目標を共にする仲間という認識をもって発案、制作相談、検証、発表、評価を行う。主体的に授業に参加することで自律した、いちデザイナーとしての意識を高め、集中した制作と円滑なコミュニケーションができるようになることを目指す。				
注意点	学生の自由な発想のもと、制作における相談、発表、検証、評価を行う。より良い作品制作に必要な学生間、教員とのコミュニケーションと制作過程を重視する。ただし、授業時数の4分の3以上出席しない者は課題提出とプレゼンテーションの実施ならびに評価を受けることができない。				
評価方法	種別	割合	備 考		
	課題完成度	50%	提出課題の完成度を評価する		
	リサーチ	10%	制作準備と過程を評価する		
	プレゼン	20%	制作物の発表方法、内容について評価する		
	平常点	10%	積極的な授業参加度、授業態度によって評価する		
授業計画（1回～15回）					
回	授業内容		各回の到達目標		
1回	ガイダンス、課題スケジュール		授業の流れを把握し理解することができる		
2回	レイアウトデザイン①		ポスター、フライヤーなど平面デザイン物における視覚伝達の役割を理解することができる		
3回	レイアウトデザイン②		トリミング、レイアウト感覚を習得することができる		
4回	レイアウトデザイン③		イメージに応じた画像加工を学ぶことができる		
5回	レイアウトデザイン④		制作物を完成させ提出、プレゼンテーションすることができる		
6回	販促グッズデザイン①		制作物の構造を理解し、その素材ならではのデザイン性を探究することができる		
7回	販促グッズデザイン②		適切なデザイン用具、アプリケーション、パソコンの使い方を理解することができる		
8回	販促グッズデザイン③		ブランディングにおける販促物デザインの役割を学ぶことができる		
9回	販促グッズデザイン④		用途や目的に応じたデザインと半立体による多角的な視覚伝達の方法を学ぶことができる		
10回	販促グッズデザイン⑤		制作物を完成させ提出、プレゼンテーションすることができる		
11回	パッケージデザイン①		パッケージデザインにおける視覚伝達の効果、役割を探究することができる		
12回	パッケージデザイン②		適切なデザイン用具、アプリケーション、パソコンの使い方を理解することができる		
13回	パッケージデザイン③		目的と用途を理解し、実際に販売されているロケーションを想定して複数の草案を作ることができる		
14回	パッケージデザイン④		発案から提出までの過程進捗を確認し、納期を遵守する感覚を身につけることができる		
15回	パッケージデザイン⑤		制作物を完成させ提出、プレゼンテーションすることができる		